

令和 6 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番1号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,223,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	6,095	6,715	6,312	6,646	5,825
	移動児童館利用者数	303	168	428	141	349
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※10(9)	※9(9)	※12(11)	※8(8)	※13(12)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	<p>①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施</p>	<p>①計画どおり実施しました。 ②常勤職員3人(児童厚生員3人)を配置しました。 ③たよりについて 未就学児の保護者用と小学生用便りを毎月それぞれ発行しました。未就学児用便りの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載し、館内にも掲示しました。これにより、普段利用している児童センター以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも本郷児童センターのPRを行うことができました。 ホームページによる情報提供 毎月便りの定期更新と事業の案内や活動の様子など身近に感じていただけるようブログを随時更新しました。また大雪警報発令時の休館や緊急情報もすぐにUPLしました。(下半期更新回数50回以上) インスタグラムによる広報宣伝活動 20～40代の50～70%の方がインスタグラムを活用しているという情報から、今回のアンケート調査で20～40代の利用者が96%を占めていた本郷児童センターでは、有効な情報発信になるため活用しました。 毎月のおたよりやフォトコーナーが変わるたびにハイライトに投稿し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。 事業の案内、募集、イベントの様子なども動画で#やBGMをつけてこまめに投稿をしました。そのため イベントや平日あそびコーナー、工作などを目的に来館されました。大雪警報発令時の休館や緊急情報も提供しました。 FacebookやHPのリンクも貼り付け、本郷児童センターの情報を閲覧しやすくしました。 インスタのQRコードを館内に掲示し、移動児童館の時は持参しました。また毎月発行するおたよりにも載せました。 毎月のおたよりやフォトコーナーが変わるたびにハイライトに投稿し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。(下半期投稿回数80回以上、フォロワー240人) 母子モの活用 昨年度から母子モに登録し、幼児対象の自由参加の幼児クラブ案内と毎月のリトミック募集情報を載せました。母子モを見て来館された利用者もいました。 子育て中の保護者に対するイベント情報提供 保健師が取りまとめている 金華、京町、明徳、徹明、本郷、木之本などの未就園児対象のイベント一覧表に本郷児童センター幼児クラブの情報を載せてもらいました。 イベント案内版について 館内に行事の案内板を作り、未就学児用と児童用に分けて利用者にわかりやすいように掲示をしました。工作は作りたくなるように今年度からは見本も一緒に掲示をしました。 ④ご意見箱を玄関に設置し、いつでも利用者からのご意見・ご要望を記入していただけるようにしました。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで、苦情に対し適切に対応することができる体制としました。 アンケートによる利用者の意見調査 保護者50人、児童52人を対象に1月に実施しました。一般利用者の児童、父母、祖父母、母親クラブ参加の方に満遍なく 職員、施設、事業について回答をしていただきました。 結果について館内に掲示をしました。ホームページにも掲載し、広く公開しました。パンフレットコーナーに印刷したものをおきました。</p>
自主事業 提案事業		

<p>施設管理</p>	<p>①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理</p>	<p>①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と就労継続支援B型事業所による週2回の清掃を実施しました。園庭の草は草刈り機を使用し定期的に刈り、花壇の手入れも適宜行いました。岐阜版アダプト・プログラムに申込み、児童センター周辺道路や地域の清掃活動を実施しました。幼児が使用するおもちゃは、昼と夕方に清拭消毒を行い、拭くことのできない人形や本はオゾン保管庫で行い、感染対策を継続して実施しました。玄関に消毒液を、手洗い場やトイレはハンドソープと消毒液を設置しました。快適で安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度管理と換気に気をつけました。③未使用の部屋の消灯、室内の適正な温度管理に努めました。エアコンフィルターの掃除や月1回空気清浄機のフィルター掃除を行い、節電に努めました。午後4時以降、事務室のエアコンは切り、毎日少しずつですが節電を心がけました。おもちゃ病院ぎふに壊れたおもちゃの修理を依頼し、おもちゃが長く使えるようにしました。廃材を活用した事業を実施し、環境に配慮しました。地域の資源分別回収へ資源ごみを出しました。④専門業者による設備、遊具の点検を依頼しました。毎日の日常点検と月1回、職員による施設内外の安全点検、月2回のAED点検を実施しました。おもちゃは昼と夕方、2回の消毒の際に点検を行い、備品の維持管理に努めました。</p>
<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①修繕要望書を、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に提出しました。利用者の安全性が確保できない遊具は、利用を中止しました。毎日職員が点検を行い、危険個所がないように気をつけました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。軽微な修繕(ペンキ塗り、トイレ入ロアの扉車修繕、タイルの補修、玄関マットの交換)は職員が行いました。</p>
<p>危機管理 法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守</p>	<p>①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 また災害や事故が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告をしました。防犯・防災訓練(毎月1回)を実施しました。事務室を離れる時は、緊急通報装置を携帯しました。警察に定期的に巡回を依頼しました。個人情報が記載された用紙については、鍵のかかる場所に保管し、使用后すべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。電子メールの誤送信対策の徹底を図りました。メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しました。また、大規模災害対策として飲料水や非常用の菓子の他に、ヘルメットやフリースドライの食事を準備しました。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和7年1月8日～1月25日 回答者数: 50人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和7年1月8日～1月29日 回答者数: 52人(小学: 1年5人、2年20人、3年0人、4年7人、5年10人、6年0人、 (中学: 1年5人、2年5人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 本荘7人、明郷5人、島5人、徹明さくら5人、岐阜3人、木田3人、鏡島2人、則武2人、城西2人、加納西2人、その他市内11人、市外3人</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(16%)、30代(74%)、40代(6%)、50代以上(4%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(2%)、ほぼ毎日(4%)、週2～3回(6%)、週1回(18%)、2週に1回(30%)、月1回(34%)、その他(6%)</p> <p>【来館相手】 子・孫(98%)、友人(0%)、その他(2%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(32%)、1歳(42%)、2歳(10%)、3歳以上(14%)、無回答(2%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(10%)、自転車(4%)、自家用車(82%)、公共交通機関(4%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(52%)、広報紙・チラシ(6%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(25%)、ぎふし子育て応援アプリ(0%)、ソーシャルメディア(10%)、その他(8%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(90%)、ほぼ満足(10%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(92%)、ほぼ満足(6%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 明郷小(43人)、島小4人、徹明さくら小3人、その他市内2人</p> <p>【学年】 小学: 1年(10%)、2年(38%)、3年(10%)、4年(13%)、5年(19%)、6年(0%) 中学: 1年(5%)、2年(5%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(0%)、毎日(0%)、週4・5回(12%)、週2・3回(10%)、週1回(29%)、その他(50%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(8%)、友人(60%)、兄弟姉妹(19%)、父母(13%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(42%)、自転車(35%)、自家用車(23%)、バス・電車(0%)</p> <p>【好きな遊び】 ボールあそび23%、バドミントン21%、ぬりえ6%、マンカラ9%、サッカーゲーム4%、カラム9%、ボードゲーム7%、ソリティア4%、シルバニアファミリー7%、ホッピング5%、その他5%</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>○いつも明るくやさしく迎え入れてくださりありがとうございます。(4名)</p> <p>○いつもあたたかいお声掛けありがとうございます。(3名)</p> <p>○ありがとうございます。(3名)</p> <p>○いつも来館時・退館時に挨拶してお見送りしてくれて、気持ちよく使えています。(2名)</p> <p>○いつも楽しく遊ばせていただいています。(2名)</p> <p>○いつも笑顔で丁寧な対応ありがとうございます。(2名)</p> <p>○気持ちよく挨拶してくれたり、名前を呼んでくれて嬉しいです。(2名)</p> <p>○すぐに子どもの名前を覚えてくださり、こまめに声をかけていただけるので、居ごちがよく連れて来やすいです。(2名)</p> <p>○いつもあたたかく迎えてくださり、気持ちよく来られます。(2名)</p> <p>○子ども一人一人丁寧に接していただき、再度来館したいと思いました。</p> <p>○職員がやさしく迎え入れてくださるので、短時間でも利用したくなる児童館です。</p> <p>○言葉使いが丁寧です。</p> <p>○いつも気持ちよく利用させていただいています。</p> <p>○また来たいと思います。</p> <p>○色々サポートしていただけて助かります。(親子サークル役員)</p> <p>○定期的に集まりやイベントがあると「外出するぞ」という気になるのでありがたいです。</p> <p>○幼児用工作もかわいい物が多く、毎回楽しみです。</p> <p>○車のおもちゃが大好きです。</p> <p>○施設の清潔感も大満足です。</p> <p>○他の児童センターにも行きますが、そちらよりとてもきれいにいただいています。</p> <p>○毎日消毒ありがとうございます。</p> <p>○おもちゃの種類も豊富で楽しんでいます。</p>

利用者からの
要望・苦情と
対処・改善

○車が停められていいです。
○職員がやさしくて、娘も親もこちらの児童館が一番のお気に入りです。
○これからもよろしく願います。
○トイレが寒く、便座が冷たいです。
→ 寒いのに便座も冷たくて申し訳ないです。市へ要望があったことを伝えます。
○ちょっと寒いのがつらいです。
→ 朝一番に暖房を入れ暖めているのですが、特に寒く天気の悪い日の朝は暖まりにくく寒いですね。暖まるまでの間、上着を着てご利用していただくようご協力をお願いいたします。
○たくさん話しかけてほしいです。
→ たくさん話しかけますので、いっぱいあそびに来てくださいね。
○授乳スペースのカーテンが、2カ所あるのが不便です。
→ ご不便をおかけします。使用時に職員に言ってくだされば、しめさせていただきます。
<児童>
○図書室にアスレチックを置くといいと思う
→ 運動をする部屋ではないのでおけないです
○小学生が遊べるところを増やしてほしい
→ 部屋を増やすことはできないので外用のおもちゃを増やしました！使ってくださいね
○ブランコがほしい→
ブランコはむずかしいです
○お菓子を食べれるようにしてほしい
→ アレルギーのある人も利用するのでむずかしいです
○幼児室を小学生も入れるようにしてほしい
→ 小さい子もあんしんしてあそべるようにわけています

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□業務改善や工夫、新規事業について(効果性③)</p> <p>新規事業 ・避難所サバイバルゲーム 小学生対象に「避難所サバイバルゲーム」を開催しました。このゲームを開発された災害医療大学の方と岐阜薬科大学の学生が講師となり、小学生にはなじみのあるカードゲームで避難して物資が不足しているときに日用品などを使ってケガや衛生を保つ方法を学びました。高学年の児童が熱心に参加していました。 ・歯みがき講習会 0, 1才の乳児とその保護者を対象に歯が生える前からの歯茎磨きから歯みがきを嫌がる前に仕上げるポイントを歯科衛生士に教えてもらいました。 ・障がい者施設との交流会 これまで、季節の作品を作って届けることで交流をしていましたが、サイエンスショーを就労継続支援B型事業所の方と児童センターで一緒に楽しみました。 ・本郷校区文化祭に出展 工作が大好きな小学生にボランティアで羊を作ってもらい、本郷児童センターの活動紹介とともに公民館に飾りました。地域の方に児童センターの活動をPRすることができました。 ・絵本ローテーションの実施 岐阜市で購入してもらった絵本のうち10冊を同一法人の児童館・児童センター9館を1か月ごとに順に回覧し、利用者が新しい絵本を常に楽しめるようにしました。絵本棚に特別コーナーを作り、回覧絵本が分かりやすいようにし、本郷児童センターにはない絵本を楽しんでいただきました。 業務改善や工夫 ・サイエンスショーの開催 元科学館の館長によるサイエンスショーを12月に開催しました。児童と大人も楽しめる参加型のプログラムで、科学に対する興味・関心を高めることができました。下半期は就労継続支援B型事業所の障がい者の方も一緒に体験をして楽しみました。 ・保健師さんによる離乳食や乳児・妊婦に合わせた災害時の準備の話、育児相談の実施 保健師さんに2回来館していただきました。月齢にあった「離乳食」の話、妊婦・乳幼児の「災害時の準備」の話をしていただきました。 また 身長、体重測定と子育ての中で心配なこと、成長に関わる悩みなど母親に寄り添った個別相談も実施しました。 ・ハッピー子育ておしゃべり会の開催 相談役として、沖ノ橋認定こども園の保育士と元児童館職員に来館してもらい、子育てで困っていることや悩みなど気軽にしゃべりできる機会を設けました。 ・土日祝日の未就学児対象イベントの充実 「お父さんとあそぼう」の開催 毎月第2、4土曜日の午前に定期開催しました。平日は勤務のため幼児クラブに参加できない父母と未就学児が参加できると喜ばれました(平均5家族参加)。 「ぶどうひろば」の開催 土日祝日に不定期に開催しました。工作や親子で体を使って楽しむ遊びを中心に行いました。 「多世代交流リトミック」の開催 平日に開催しているリトミックを家族みんなで参加できるように多世代交流リトミックとして土曜日に開催しました。小学生も含めた年長児も参加できるイベントを開催してほしいと要望があり開催をしました。「父親が子どもとこんなに楽しそうに遊んでいる姿をみられてよかった」と祖母が話されていたり、「パパは力持ちなの」とお父さんを自慢する子がいたり毎回楽しんでいただけました(平均6家族参加)。 ・「木育マラカス作り」の開催 今年度は県の木育事業に申し込みができなかったため、講師に直接依頼をし、11月の土曜日に開催しました。家族で参加できるため、父親に子どもを任せた母親は「子どものことを忘れ夢中になれました。楽しかった。」、父子で参加された父親は「子どもを見ながら大変でしたが、できあがったマラカスを見て喜んでくれたので、(大変さが)吹き飛びました」と喜んでいただけました。 ・絵本コーナーの充実 絵本を購入し絵本コーナーを充実させました。絵本を家族で楽しむ姿が以前よりも増加しました。 ・子どもの意見を聞くためこども委員会の開催、意見を取り入れた活動の実施 10月と3月の2回こども委員会を開催しました。 10月は今のままで十分楽しいとのことだったので、どんなところが楽しいのかを確認しました。3月は工作がやりたい、絵の具を使って絵を描きたい、あったらいいと思う本やゲームの意見を聴くことができました。今回出てくれた意見をもとに本やゲームの購入を進めること伝え、これからもどんどん意見を出してほしいと話しました。昨年度の意見で出た 宿題を行う場所の提供、障がい者や乳幼児とのふれあいは継続して行いました。こどもの意見を尊重し、活動に活かし 居心地のよい児童センターになるように努めました。</p>
	<p>□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)</p> <p>・毎月のおたより発行と児童館・児童センターの場所を掲載 未就学児の保護者用と小学生用便りを毎月それぞれ発行しました。未就学児用向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の施設を知っていただくきっかけとなりました。 ・ホームページによる情報提供 毎月便りの定期更新と事業の案内や活動の様子など身近に感じいただけるようブログを随時更新しました。また大雪警報発令時の休館や緊急情報もすぐにUPしました。(下半期更新回数50回以上) ・Instagramによる広報宣伝活動 20~40代の50~70%の方がInstagramを活用しているという情報から、今回のアンケート調査で20~40代の利用者が96%を占めていた本郷児童センターでは、有効な情報発信になるため活用しました。 毎月のおたよりやフォトコーナーが変わるたびにハイライトに投稿し、必要な情報がすぐに見られるようにしました。また事業の案内、募集、活動の様子なども動画で#やBGMをつけてこまめに投稿をしました。そのため イベントや平日あそびコーナー、工作などを目的に来館されました。 大雪警報発令時の休館や緊急情報も提供しました。 FacebookやHPのリンクも貼り付け、本郷児童センターの情報を閲覧しやすくしました。 インスタのQRコードを館内に掲示し、移動児童館の時は持参しました。また毎月発行するおたよりにも載せました。(下半期投稿回数80回以上、フォロワー240人)</p>

今期の取組み
に対する評価

・母子モへの登録、広報活動

昨年度から母子モに登録し、学期ごとの未就学児対象幼児クラブ案内や未就園児対象リミックの募集情報を載せていただきました。母子モを見て申込や参加をされた利用者もいました。

・子育て中の保護者に対するイベント情報提供

保健師が取りまとめている 金華、京町、明德、徹明、本郷、木之本などの未就園児対象のイベント一覧表に本郷児童センター幼児クラブの情報を載せてもらいました。

・「ツナグテ」利用者へのPR

毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも本郷児童センターのPRを行うことができました。

・幼児クラブ申し込み連携

登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

・土日祝日の未就学児対象イベントの充実(再掲)

・年齢別リミックの開催

毎月1回安全に配慮するため年齢別にリミッククラブを開催しました。定員がいっぱいになった時は、キャンセル待ちをしていただき、申し込みされた方が欠席の時は、キャンセル待ちの方に参加していただきました。定員も講師と相談し、少し増やしていただきました

・未就園児対象自由参加の集いを年齢別に開催

年齢別に自由参加の幼児クラブ「0才の集い」、「1才の集い」、「2才以上の集い」を開催しました。本郷児童センターの周りには市内中心部で転勤族が多く、学期ごとの登録制幼児クラブにすると次の申し込みまでお待ちさせることになるため、いつからでも参加できるよう自由参加としました。

・0才と1才対象にハイハイよちよちレースを開催

毎月第2木曜日に、「ハイハイレース」を開催しました。毎月第2金曜日に「ハイハイ、よちよちレース」を開催しました。まだできない親子は応援団になり、その様子を見ながら「ハイハイや歩けるようになるのが待ち遠しいです。」と自分の子の成長を楽しみにされていました。毎月実施していることが定着し、20組近くの参加もありました。

・絵本ライブの開催

絵本ライブを10月に開催しました。体を動かしながらギターを生演奏で絵本を楽しめるため乳幼児親子に喜ばれました。今回見せてもらった絵本を児童センターで購入し、多くの利用者楽しんでもらいました。

・保健師さんによる個別相談の実施

保健師さんに2回来館していただきました。月齢にあった「離乳食」の話、妊婦・乳幼児の「災害時の準備」の話をしていただきました。

また 身長、体重測定と子育ての中で心配なこと、成長に関わる悩みなど母親に寄り添った個別相談会も実施しました。

・ハッピー子育ておしゃべり会の開催

相談役として、沖ノ橋認定こども園の保育士と元児童館職員に来館してもらい、子育てで困っていることや悩みなど気軽にしゃべりできる機会を設けました。

・京町保育所の保育士によるあそびの会

保育士に奇数月に来館してもらい、0才親子にふれあいあそびを教えてくださいました。毎回新しいあそびを教えてくださいただけるので、参加される親子も楽しんでいました。

・工作や遊戯室での遊びのコーナーを平日毎日実施、フォトコーナーを毎日用意

幼児の手形・足形アートを使った工作を実施しました。下半期から誕生日用の足形アートを用意しました。年に1度の記念日のため、特別感のある仕上がりに満足されていました。また毎月変わる月ごとの作品を楽しみに来館され、自宅用にまた祖父母にプレゼントするなど市内外から多くの方が来館されました。「自宅でやるよりもきれいに取ってもらえる」、「月毎に変わるのが楽しみです」と喜ばれていました(200名以上参加)。

工作も季節に合わせて毎月変わるので作るのを楽しみに来館される方もいました(170名以上参加)。

遊戯室でのあそびのコーナーを週替わりでイベントのない平日に毎日実施しました。広い部屋で体を思いっきり動かせるプログラムが人気でした(450名以上参加)。

フォトコーナーもHPやInstagramでお知らせし、変わるたびに写真を撮りに来館される親子もいました(170名参加)。

・小学生工作の平日開催

土曜日に事業で実施している工作を平日にもできるように準備をしました。土曜日は忙しくてなかなか参加できない児童に好評でした。

・未就学児対象に出席カードの作成

来館するたびにシールが貼れるカードを用意し、未就学児も来館する楽しみをもっていただけるように準備しました。1枚のカードがいっぱいになる毎に職員の作った折り紙をプレゼントしました。

・子どもの意見を取り入れた活動の実施

10月と3月の2回「こども委員会」を開催しました。

10月は今のままで十分楽しいとのことだったので、どんなところが楽しいのかを確認しました。3月は工作がやりたい、絵の具を使って絵を描きたい、あったらいいと思う本やゲームの意見を聴くことができました。今回出してくれた意見をもとに本やゲームの購入を進めること伝え、これからもどんどん意見を出してほしいと話しました。昨年度の意見で出た 宿題を行う場所の提供、障がい者や乳幼児とのふれあいは継続して行いました。こどもの意見を尊重し、活動に活かし 居心地のよい児童センターになるように努めました。

・安心して遊べる環境づくり

職員による施設点検を毎朝実施。感染症のリスクや壊れたおもちゃでけがをしないよう幼児が使用するおもちゃは、昼と夕方に消毒と点検を行いました。

□人材育成の方策(安定性⑫)

・スキルアップ研修会

「けん玉講習とおすすめゲーム(10/23日光児童センター)」 おすすめされたゲームを12月に実施

「絵本の読み聞かせのポイント(11/14長森児童センター)」 幼児クラブでの読み聞かせに学んだポイント取り入れて実施

・パワーハラスメント研修(10/4弁護士)

・自然災害対策(BCPについて)(10/18岐阜市都市防災部)

・感染症予防・対策研修(11/15岐阜市保健所)

・情報セキュリティ研修(12/6民間企業職員)

・虐待防止研修会(1/23岐阜県障害者権利擁護センター)何が児童虐待を招くのか保護者・子ども・家庭のそれぞれの要因について学ぶ

・第10回全国こどもの健全育成リーダー養成セミナー(2/21 WEB研修)

・防災訓練 年間計画に基づき本郷児童センターの防災訓練で、不審者対応や地震などで児童を連れて避難をすると仮定し、紙上訓練を行いました。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜高校生と0才乳児とのふれあい活動 高校生は事前に手遊びやハンドベルの練習とおもちゃを手作りして参加をしてくれました。緊張しながらもベルの演奏やセンターに扮してプレゼントを配ってくれました。乳児とふれあった経験のない学生が多く、「かわいかった」、「お母さんのお話が聞けたのがよかった」と話していました。 ・児童ボランティアの育成 児童のやりたいことを活かし、事業の手伝い(幼児、障がい者とのふれあいやフォトコーナーの準備)や季節の飾りを作ってもらいました。季節の飾りは、就労支援B型事業所に届けました。 ・木之本・本郷青少年育成市民会議家庭部会との連携 親子で楽しめるふれあいあそびや工作の紹介、またリミックや感触あそびなどの講師の紹介をしました。 ・本郷児童センター母親クラブの開催協力をしました。母親クラブに参加している「本郷コアラ」と児童センターの利用者と交流の機会を作りました。 ・保健師さんによる個別相談の実施(再掲) ・ハッピー子育ておしゃべり会の開催(再掲) ・京町保育所の保育士によるあそびの会(再掲) ・2才のリミックの講師に地元出身の方に依頼しました。 ・おおきな木の杉山さんに絵本ライブを依頼しました。 ・おもちゃ病院の開設に協力をしていただきました。 ・当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。 <p>□地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(貢献性15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども110番の家の登録 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。月ごとの下校時刻の一覧表をいただき、児童センター前を通る下校時の見守りに協力をしています。 下校時のトイレ利用、児童センター以外で負ったケガの手当て、下校したが保護者が不在のため自宅に入れず、公園での帰りの鍵を持っていないため自宅に入れず(児童センター閉館後に対応)など助けを求めてくるため、保護者へ連絡をとるなど対応をしました。 児童センターから帰宅する際は、職員に伝えるルールを必ず守ってもらい、見送りをしました。 ・本郷校区文化祭に出席(再掲) 本郷児童センターの活動を紹介し、様々な事業をPRすることができました。 ・けやき通りの清掃活動とまつりへの参加 まつり前に行う、道路の清掃活動に参加。 本郷校区にある就労継続支援B型事業所2施設と協力してコーナーを出しました。幼児が参加できるコーナーが少ないため、簡単おもちゃ作りのコーナーを出しました。 ・地域の資源分別回収へ資源ごみを出す ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 児童センター周辺道路や地域の清掃活動を実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。清掃活動は、毎週1回以上実施しました。
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○保護者も楽しめる講座を実施するなど、新規事業を取り入れ、業務改善に取り組んでいることは評価できる。 →今後も保護者が楽しめる事業をアンケート調査から出た意見を参考に開催して参ります。継続している事業に対しても、内容を目新しいものを定期的に取り入れることで楽しんでいただけるようにいたします。</p> <p>○市内の中心部は、子どもが減っており、利用者確保も困難であるが、地元と協力した取り組みがされており評価できる。 →本郷児童センターはアンケート調査からもわかるように 市内の様々な校区から利用していただいています。遠い校区からの利用者に理由を伺うと0才の幼児クラブを毎週開催している児童センターが少ないと話があり、0才で本郷児童センターを知ってもらうことでその後 継続利用につながっているようです。今後も利用者の方が楽しめる事業を継続して参ります。</p> <p>地元のイベントに積極的に参加して参ります。</p> <p>○地域の学校・機関・住民と情報の共有化を図り、子どもの見守りに努めていることは評価できる。 →学校運営協議会に参加して子どもの通学時の見守り隊の人員が減少してきていると問題点が上がっているため、月ごとの下校時刻の一覧表をいただき、児童センター前を通る下校時の見守りに協力していきます。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○定期的に子ども委員会を開催し、児童の意見を取り入れた活動の開催や居場所作り行って参ります。</p> <p>○職員研修会に参加し、資質向上を図ります。</p> <p>○アンケート調査や利用者とのふれあいを大切に、利用者の声に耳を傾け、要望の上昇した事業を実施して参ります。</p> <p>○利用者の方に施設を安全に利用していただくため、幼児用おもちゃの消毒や施設内外の掃除や安全点検を毎日行います。</p> <p>○職員だけでは不足する部分は、運営委員や地域の方、講師の力をお借りし事業を開催していけるようご協力をお願いします。</p>

●所管課の意見

- 乳幼児親子が楽しんで遊べる場所づくりに積極的に取り組んでいる。
- サバイバルゲームの実施など楽しみながら学べる取り組みを行っている。
- インスタグラムなどのSNSを活用し、利用者の増加に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・小学生の工作を出展するなど、子どもたちが他者から認められるような場の提供をしている点は評価できる。
- ・小学校の先生と情報交換会を実施しており、学校と連携して子どもたちを見守っている点は評価できる。
- ・高校生と乳児とのふれあい活動を実施し、高校生に乳児と触れ合える機会を提供している点は評価できる。
- ・子ども委員会を開催するなど、子ども主体の仕組みを構築しようとしている点は評価できる。